

The future is yours.

2024年版

目次

● こころざし育成セミナー参加	の皆さんへ]
● 病院長からのメッセージ					2
浜松医科大学医学部附属病院	病院長	松山	幸弘	先生	
伊東市民病院	管理者	川合	耕治	先生	
順天堂大学医学部附属静岡病院	院長	佐藤	浩一	先生	
静岡医療センター	院長	岡﨑	貴裕	先生	
静岡県立静岡がんセンター	病院長	小野	裕之	先生	
沼津市立病院	病院長	伊藤	浩嗣	先生	
富士市立中央病院	院長	児島	章	先生	
静岡市立清水病院	病院長	上牧	務	先生	
静岡県立こども病院	院長	坂本喜	喜三郎	先生	
静岡県立総合病院	院長代行	井上	達秀	先生	
静岡市立静岡病院	理事長兼病院長	小野哥		先生	
静岡県立こころの医療センター	院長	大橋	裕	先生	
焼津市立総合病院 病院事業	管理者兼病院長	関	常司	先生	
市立御前崎総合病院	病院長	鈴木	基裕	先生	
中東遠総合医療センター	企業長兼院長	宮地	正彦	先生	
袋井市立聖隷袋井市民病院	病院長	林	泰広	先生	
磐田市立総合病院	病院長	山﨑	薫	先生	
浜松赤十字病院	院長	俵原	敬	先生	
浜松ろうさい病院	院長	江川	裕人	先生	
聖隷浜松病院	院長	岡	俊明	先生	
浜松医療センター	院長	海野	直樹	先生	
聖隷三方原病院	病院長	山本	貴道	先生	
佐久間病院	病院長	三枝	智宏	先生	
● 医師になるための道・医師と	しての道 …			2	
● 我が国と静岡県の医療の現状				2	(
● 静岡県で活躍したいみなさん	への支援 …			2	8
● 本小冊子を読んで				2	Ç



こころざし育成セミナー参加の皆さんへ

本小冊子を手に取っていただいてありがとう!

皆さんにとって、吉田兼好の「徒然草」は馴染み深い随筆だと思います。良ければ、徒然草の第 123 段を読んでください。そこでは人に必要なものとして、衣服、食物、住居と医療の四つを挙げています。医療は、古くから私たちが安心して暮らしていくために欠かすことのできないものでした。現代においても、医療の重要性は何ら変わりません。

本小冊子は皆さんが医師という仕事を理解し、その職業に就いて 自分を育んでくれた地域に貢献する気持ちを高めるきっかけになっ てほしいとの想いで作成いたしました。

ではまず、セミナーを開催してくださる静岡県内の23病院の先生方から皆さんへ寄せられたメッセージを読んでください。







浜松医科大学医学部附属病院 病院長 松山 幸弘 先生 からのメッセージ

一がんばれ受験生ー

受験生のみなさん、今医学部受験を目指して頑張っていることと思います。

大変な受験勉強を乗り越えて行くには、今を乗り越えるためのモチベーションが必要ですよね。勉強で疲れたらリフレッシュも必要でしょう。また思うように成績が伸びない時などは、気持ちを入れ替えて頑張れるようにしないといけないですよね。思うような成績が得られない時、困った時にどうやって乗り切るかが大切ですよね。そんな時に少し休んで以下のように瞑想してみてください。

- 1:「私はよくやってる」と心でつぶやくだけでいい。 だって一生懸命頑張っているから悩むんですものね。
- 2:人生で大切なのは自分を信じて挑戦し続けること。 最初からうまくいくことなんてほとんどない。いつかできると信じて諦めずに学び続ける。困難を乗り越えた時に生まれる自信はきっとあなたの財産になる。
- 3: どんなことであれ一生懸命に取り組んだことは 長い生涯において全て自分のプラスになる。

医師という職業は、人の体を健康にする、心を健全にする大変やりがいのある職業だと思います。一生をかけて頑張れる仕事です。医師にとって最も大切なことは「思いやりの心を持つこと」だとつくづく感じます。

どの職業も共通する点があるかと思いますが、困難に出会っても負けないこと、乗り越えること、不屈の精神を持って不断なる努力をすること、そしてそれを地道に継続することです。一貫して「命の大切さ」を訴えてきたブラックジャックの作者、手塚治虫さんの名言です。

最後まで努力をするってのが、本当の生き甲斐ではないでしょうか。

受験勉強あと少し、がんばりましょう。



病院長 松山 幸弘



管理者 川合 耕治 先生 からのメッセージ

皆さんは何故将来医師になりたいと望まれたのでしょうか。純粋に "病気に苦しむ人たちの助けとなる職業に就きたい"というのがその動 機だと思います。一般の人は健康を害した時に一途に医師・医療に助 けを求めるものです。そして心身の穏やかな状態が得られた時に人は 医師・医療に最高の敬意を払うでしょう。このことは多くの皆さんが 実体験され、それが医師を目指すきっかけになるものです。

既に皆さんの先輩となった我々も、そして我々のずっと前の先達も同じです。出来上がる医師像は其々でしょう。大病院の超専門家として敏腕を振るう医師、地域で住民に寄り添って信頼を得る医師、病気の原因解明・新たな治療開発に研究の道を選ぶ医師などです。当初から強く臨床医に夢を抱いてきた私ですが、コロナ禍を経験した現在では、疾病対応における公衆衛生の力にも改めて敬服して憧れを感じています。

医師になって何十年もたつ我々ですが、理想とする医師像はまだ先にあります。そして皆さんと同じ頃に医師になることを夢見た思いを、現在も心に抱いています。我々の病院ではスローガンを"みんなを元気にしたい"と謳っております。「みんなを元気にしたい、とっても大事な人たちを。みんなを元気にしたい、こんなすてきな街だから・・・」と職員廊下の壁に歌を貼り付けています。努力して越えなければならないハードルはたくさんありますが、我々と共に、夢に向かって進んでゆきましょう。



管理者 川合 耕治



順天堂大学医学部附属静岡病院 院長 佐藤 浩一 先生 からのメッセージ

医師になること

医師を目指す道は極めて険しく、医師になってからも不断の努力が 必要とされます。それではなぜ医師を志すのでしょうか?

高校3年間は将来の進路を決める大切な時期であります。人生は一度きりの貴重なものであり、どんな苦労にも努力を惜しまず、充実した仕事に就きたいと考える方は多いと思います。「朝に道を聞かば夕べに死すとも可なり」志への強い思いと、それを成さんと追い求める姿勢が現れている論語に示された孔子の言葉です。医師になり、医道を全うするという強い意志があれば道は開けてきます。

それではどのような人が医師に向いているのでしょうか?学業成績の良し悪しはあまり重要な要素ではありません。「名医たらずとも良医たれ」医療を行っていく上で常に心の中にあり続ける言葉です。この言葉には、名声ばかりを求めるのではなく、患者の立場で考える医療を提供し、患者を一人の人間として見て病気を治す存在でありなさいという意味が込められています。医師には患者一人一人の生命を尊重し、人間としての尊厳と権利を守ることが求められています。利己的な性格は医師に向いていません。利他的でいられること、すなわち自分を犠牲にして他人の幸福・利益のために尽くすことが良医になれる必要条件です。

現在、本邦では医師不足が大きな問題となっており、OECD の医師数の平均と比べると日本の医師数は12万人も不足しています。不断前進の理念(現状に満足せず常に高い目標を目指し努力を続ける姿勢)と、利他的な精神をお持ちの方はぜひ医師を目指して下さい。



院長 佐藤 浩一



医師を志す皆さんへ

私は当院に赴任する前、大学病院の医師だったこともあり、医学部 受験生の面接をしてきた経験もある故、医師を志そうとする動機形成 のきっかけは様々であることも理解できますし、それが当たり前であ るとも思います。

- 1) 親が医師として働く姿を見て
- 2) 親族の病気を見守る経験をして
- 3) ドラマに登場するその姿に憧れて
- 4) 救急や海外協力隊のドキュメンタリーを見て などなど、、、、

しかしながら、動機形成のきっかけが何であろうとも、その夢を現 実にするためには知識や経験を継続的に積み重ねる努力が必要です。 これは、他の職業であっても同じだと思います。

「かっこいい」から医者になるでも構いません。かっこいいプロアスリートの背景には天賦の才に加味された莫大な努力があるように、どんな職業でもプロフェッショナルになる為には、同じような努力が求められます。

「意思があり、継続的な努力ができる」人であれば、道が閉ざされる ことは決してありません。

お待ちしています。



院長 岡崎 貴裕



静岡県立静岡がんセンター 病院長 小野 裕之 先生 からのメッセージ

医師を目指す皆さんへ

医学部進学を志望する理由はさまざまだと思います。

大学の同級生には「病める人々を治したい!」という高尚な気持ちで医師という職業を目指した者もいました。でも一方では「親が医者だから」とか「医学部に入れる成績だったから」というものもいるのです。

私はと言えば、「自分は9時5時勤務の生活は向いてない、医者なら自由に動けるかな」というあまり褒められない理由でした。そんな私でしたが卒業して消化器内科医となり、人体の不思議さ、精妙さ、そして複雑さに圧倒されながらも惹かれ、自分の診療が目の前の患者さんに直接影響することの重大さに恐れおののきながらも、強い魅力を感じて飽くことがありませんでした。臨床医は患者さんに学び、治った患者さんとともに喜び、ときに治せぬ自分に苦しむ泥臭い職業です。でもまた生まれ変わっても臨床医になりたいと今は思います(でも次は外科医になりたいな)。

そんな臨床医を目指すもよし、一方で医者にはいろいろな道があります。遺伝子工学や生理学、生化学、分子生物学などの基礎研究者として生きる者、保健所など公衆衛生に従事する者、国の医療行政を変えてやると厚労省の技官となる者、日頃皆さんがイメージする臨床医以外にもさまざまな選択肢があります。

静岡がんセンターも国公私立、さまざまな大学からスタッフが集まっています。

いつか、皆さんと静がんで一緒に働けたらすてきですね。



病院長 小野 裕之



医師を目指す皆さんへ

皆さんは、なぜ医師を志すことを考えたのでしょうか。

皆さんが目指す医師とは、患者さんの生活・人生のみならず、その ご家族を含めた周囲の方々にも多くの影響を与える「やりがい」があ る一方、責任ある職業になります。

現実には、皆さんが思い描いている理想とは異なることも多い職業 です。

しかし、この冊子を手にした皆さんには「医師」という目標に向かう熱い気持ちと高い志があることでしょう。目標を見失わず、夢に向かって邁進して下さい。応援しています。

当院は、静岡県東部地域の基幹病院として、様々な患者さんを受け 入れていますが、静岡県東部は、慢性的医師不足であり、人口減少や 少子高齢化なども相まって、地域医療は縮小していく可能性がありま す。医師の働き方改革も始まり、医療従事者を取り巻く環境が大きく 変化するなか、是非とも、皆さんの力が必要です。

近い将来、皆さんと共に仕事が出来ることを楽しみにしています。



病院長 伊藤 浩嗣



医師をめざす皆さんへ

この冊子を目にしている皆さんは、これから医師になる決意を固めている方、迷っている方など様々と思います。私がどのように医師をめざすこととしたのか、御参考になればと思い、筆をとりました。私の父は勤務医で、帰宅はいつも遅く、平日は一緒に夕食をとった記憶はありません。遅くに目が覚めると、机に向かって仕事をしている父の背中を思い出します。「医師は大変な仕事なのだな」と当時は感じていました。父の勤務している姿を実際に見ることはありませんでしたが、父の知人が自宅に来訪した際に、診療のこと、研究のことで長く話をしているのを耳にしていました。そのような経験から、自分も将来は医師になり、そして医学の道を進む気持ちを少しずつ固めていったのだと思います。

医師になって、今年で40年になります。あらためて振り返りますと、決して平たんな道ではありませんでした。多くの方に出会い、自分の進む道が決まっていったと思います。そして大きく私を育てていただいたと思います。 医師をめざす皆さん、医師になるためには相応の決意と努力が必要と思いますが、それがゴールではありません。そこからがスタートなのだということをぜひ理解していただきたいと思います。



院長 児島 章



静岡市立清水病院 病院長 上牧 務 先生 からのメッセージ

これから医師を目指す皆さんへ

私は長い間、研修医を指導する立場にいます。毎年4月、医学部を卒業したての医師が病院という実社会へ旅立つ姿を目の当たりにしています。その姿は前途洋々というより不安満載という頼りない姿です。上級医と一緒に歩く姿はよちよち歩きのひな鳥が親鳥についていくような光景です。しかし、ひと月が経ち、三月が経ち、夏休みが終わるころになると一変します。研修医の顔がひきしまってきます。上級医との会話もスムーズに感じられます。救急外来へ走っていく姿はテレビドラマの主人公のようです。

しかし残念なことに必ずしもすべての研修医がこのような姿を見せてくれるわけではありません。私はこの理由を医学生の医師になる目的が変化していることが原因と考えています。たとえば皆さんに「どうして医学部をめざすのですか」と問うと「もちろん、医師になるためです」と答えるでしょう。「では医師になって何をしたいのですか」という問いに対し予想外の答えが返ってくることがあります。「仕事も大切だが自分の時間も大切にしたい」「体力がないのできつい科にはいきたくない」「夜働くのは苦手なので当直はなるべくやりたくない」など。時代の変化、価値観の違いといえばそれまでですが何か割り切れない気持ちになります。「医学の発展に結びつくような研究をしたい」「医師の少ない地域で医療を支えたい」「厚生労働省に入省して保健行政に携わりたい」など医学部をめざす皆さんのうち一人でも多くの方がこのような熱い思いを持ってほしいと思っています。さらに静岡県の医療をささえてくれる医師として勤務してくれることを望んでいます。

院長に就任してからの現況

就任直後は病院経営に関してほとんど知識がなく会話についていくことができませんでした。これではいけないと思い多くの情報をインプットし続けました。今では同じ土俵で会話ができるようになった気がします。このまま立ち止まることなく勉強を続けていきます。

もう一つ心掛けていることがあります。全医師と個別面談です。直接話を聞くことであたらしい気づきが得られています。頑張ってくれている医師、看護師、病院スタッフに感謝の言葉をかけることも忘れてはいけないと思っています。



病院長 上牧 務



地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こども病院

院長 坂本 喜三郎 先生 からのメッセージ

医師になる。

その"こころざし"を持ち、"こども"というキーワードで繋がっている方がこのページを読んでいることと思います。

"ようこそ! 小児の総合病院: 静岡県立こども病院へ"

ここは、小児科医が半分、小児科医ではないけれども小児に対する医療(ほとんどの外科系の科と麻酔科、放射線科、病理科など)に携わる医師が半分で構成されている、静岡県小児医療 "最後の砦" の役割を担っている病院です。

何を隠そう、私自身も小児科医ではありません。心臓血管外科医と して先天性心疾患に対する外科治療を専門にしております。

『なぜ、こどもの医療にハマったのか?』ですって? なぜって・・・こどもは、未来そのものだからです。

こどもが元気になれば、親が元気になります。こどもが元気になれば、 静岡が、日本が元気になります。病気と闘っている子が元気になれば 治療に関わった人は10倍元気になる、そのことを経験したからです。

医師を目指している諸君。医師になるにはここからもう一踏ん張り 必要です。が、このセミナーに参加している君たちならきっとできます。 数年後、一緒に仕事をする日が来るのを願ってエールを送ります。

頑張れ、この国の未来の医療を担う未来達!



院長 坂本 喜三郎



地方独立行政法人 静岡県立病院機構 **静岡県立総合病院** 院長代行 井上 達秀 先生 からのメッセージ

四国の田舎の県立高校に通っていた私は、「医師とは」「医学部とは」 に関する情報が得られず具体的なイメージがわかないまま医学部に入 学していました。そのような状況でも医師は人々の健康維持に直接関 与し社会貢献できる職業であると理解していました。

したがって、私は医学部入学後に「医師とは」について考えるようになりました。ともに考えて行動する友人を得て、山登り等で体を鍛えなおし、哲学、物理をともに深く学習することで「人間」「生命」について理解を深めました。幸いなことに志の高い友に恵まれ幸運でした。

このように、友との出会い、師との出会い、文献との出会いにより、世界は広がり医師になるという意識は高まっていきました。さらに医師を育てるのに最も大きな影響を与えるのは、患者さんとの出会いです。医師として臨床の現場に立つ限り、これは一生続きます。基礎研究者になったとしても常に患者さんの顔が浮かぶかと思います。

超高齢化社会を迎えた日本では、ライフステージ別の最適な医療提供体制が構築されてきています。遺伝因子、環境因子の解析が飛躍的に進歩して、疾患の発症そのものを抑制する先制医療が発達してきています。さらに、遺伝子治療が実用化されるなど、医学の進歩には目を見張るものがあります。医療界に志の高い若者が増えることを期待します。



院長代行 井上 達秀



高校生の皆さんへ

皆さんは医師になることに興味を持ちました。医師は患者さんの診療を行いますが、仕事が忙しいこと、患者さんの診療には常に気が抜けないことがつらさとしてあります。しかし、自分が行う診断、治療で患者さんが治る、状態が良くなることには充実感があります。この充実感は、仕事のつらさを上回るものですし、患者さん、家族からの感謝も励みとなります。

自分の能力の程度から患者さんの生命に影響が出てくることも責任として、医師にのしかかります。このため常に新しい知識が必要で、一生、勉強の継続となります。今、皆さんが高校でしている勉強は社会で暮らし、働くための基礎的な知識と大学受験に必要な知識です。今は勉強がつらいと感じている人もいるでしょうが、医師としての勉強は、目の前の患者さん、そして次に診る患者さんに直接役立つものです。この実学は勉強として楽しいものです。また、医師は研究を行うことで医学、社会に貢献することもできます。

医師はいろいろな働き方ができますし、いろいろな可能性がひらけています。皆さんの医師へのチャレンジを期待しています。



理事長兼病院長 小野寺 知哉



地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター 院長 大橋 裕 先生 からのメッセージ

医師を目指す皆さんへ ~こころを診るということ~

この冊子を手になさった皆さんは、医師という職業に少なからず興味を抱かれているのだと思います。今日は、私が専攻する精神医学をアピールさせて下さい。

こころの在り処とは?言うまでもなく、それは heart (胸の内)でなく brain (脳の活動)です。ヒトの大脳は百数十億個の神経細胞からなり、神経細胞同士の複雑なネットワークが思考や感情を生み出して伝えています。精神医学とは脳科学なのです。うつ病、パニック障害、PTSDといったメンタル不調の発病メカニズムを探してこれと対峙するという「未知の領域である脳を知り、脳を守る」仕事は刺激的な魅力に溢れています。

一方で、精神疾患は慢性の経過をとることが殆どで、精神科医は時として、患者さんの人生も治療対象にすることを求められます。社会的スティグマにもなり得る精神疾患を挟んで患者さんに寄り添い続けること、それは、優しい献身です。

精神科医という職業は、このように相反する側面を持っています。 「もっと知ってみたい」とそそられませんか?探求心と人間愛を持ち合わせた若者が私たちの仲間になって下さることをお待ちしています。



院長 大橋 裕



焼津市立総合病院

病院事業管理者兼病院長 関 常司 先生 からのメッセージ

医師を目指す高校生の皆さま、こんにちは。

皆様は医師というと、地域に密着した病院や地元の開業医の先生方を思い浮かべると思います。しかし現代の医療は格段の進歩を遂げている一方で、まだまだ有効な治療法が確立していない難病も数多く残っています。そのため大学病院では臨床・教育および研究を合わせて行っている医師達もいます。また専門の研究機関では、医師の資格を持ちながら診療は行わず、もっぱら基礎研究に打ち込んでいる人達もおります。

例えば2020年から流行した新型コロナウイルス感染症では、当初世界中で多数の医師が最前線で有効な治療法を模索しながら懸命に対応してきました。その後今までの常識では想像できない程の驚異的なスピードで mRNA ワクチンが臨床応用され、今回のパンデミック終結に大きく貢献しました。この画期的な新規機序によるワクチン開発が成功した背景には、専門的知識を持つ医師の長年に渡る地道な研究成果があり、その業績は2023年のノーベル生理学・医学賞獲得にも繋がりました。

このように医師の仕事の実態はかなり幅広いものであり、それぞれに重い責任を伴いますが、間違いなくやりがいのある職業です。まずは病院見学などの機会を通して当院のような地域中核病院で自分達の臨床業務に誇りを持ってアクティブに働いている医師達の姿をよく見て、医師という職業に興味をもっていただき、ひいては将来の医療・医学の進歩を支えていくこころざしをもっていただければ幸いです。



病院事業管理者兼病院長 関 常司



市立御前崎総合病院 病院長 鈴木 基裕 先生 からのメッセージ

皆さん最近遊んでいますか?

当院は、窓から太平洋を一望できるロケーションを誇ります。皆さんの理想の医師像は何でしょうか?皆さんは過去にケガや病気で医療機関を受診して様々な医師に会ったことと思います。理想の医師像は、皆さんが将来医師になって活躍する場面を想像したときに、臨床の場以外に研究や教育の現場などシチュエーションで異なるはずです。

私が「この先生は素晴らしいなあ」と思う方の共通点は、医学的な知識だけでなく人間力の高さであるように思います。これは、独善的でなく相手のことを常に考えて対応できる能力とも言えます。勉強だけでなく、部活動や社会活動に積極的に参加して、趣味や遊びに没頭できることが人としての器を拡げ将来の皆さんの財産となるはずです。小学生の頃に言われたことがありませんか?「よく学びよく遊べ!」これは真実を突いているなと最近実感しています。

当院の職員は、地の利を生かしてマリンスポーツや釣りを楽しむ方が数多く在籍し、全日本サーフィン選手権に参加する医師もいれば、休日に船に乗って海で大物を狙う者もいます。職員同士が出勤前に海岸で挨拶してから出勤することもあるようです。

医学を志す学生の皆さん、たくさん学び、よく遊び、人間力を磨いてください。いつの日か皆さんと一緒に御前崎で地域医療を支えることができることを望んでいます。



病院長 鈴木 基裕



企業長兼院長 宮地 正彦 先生 からのメッセージ

「医師になる」ことは、ただ単に職業を選ぶに留まらず、将来の可能 性を広げることです。将来に向けて努力し続ける人、進歩し続ける人 になることです。目標を一つ達成すると、次の目標が見えてきて、ま た頑張ろうと思い、これが生涯続くのが医師という職業だと思います。 常に人のため、自分のためにいいことをしたいと思い、切磋琢磨した くなる職業です。

切磋琢磨するためには、自分一人ではできません。他者と接するこ とが大切です。手を洗うとき、片手だけではしっかり洗えませんが、 両手で洗うことで、片手で洗うとき以上に両手ともにしっかり洗えま す。人が成長するためには、他者や問題との絶え間ない接し合いが必 要です。私たち医師は患者さん、病気と真摯に向き合うことで、己が 鍛えられます。頑張ったからといっても、いつもいい結果が得られる わけではありません。落ち込むこともあります。他者と接することは 他者とつながることでもあります。「人はつながるだけで力を得ること がある。絶望も諦観も、孤独の沼からあふれ出してくる。手を取り合 うだけで、にわかに歩む道先が見えてくることがある。理屈も知恵も 哲学も、皆あとからついてくる。|(夏川草介「新章神様のカルテ」よ り引用)

医師になるための適性はあるのでしょうか。そのような適性はあり ません。自分がなりたいと思い、やり続けることができたのなら、適 性があったんだと思います。医師の可能性はとても広いです。つなが ることでさらに広くなります。医師への道に足を踏み出してみません か。目の前に広がっていることに気付くでしょう、君を惹きつけてや まない可能性が。



企業長兼院長 宮地 正彦



社会福祉法人 聖隷福祉事業団 **袋井市立聖隷袋井市民病院** 病院長 林 泰広 先生 からのメッセージ

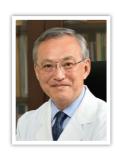
医師は、歴史上最も古い職業だと言われています。古来世界中のあらゆる地域で、多くの医師たちが病める人々のために懸命に努力してきました。そのうち一部の医師たちは名医として後世に名を残しています。

医師には、患者へ関心をもち共感する姿勢が欠かせません。加えて倫理観の涵養が大切となります。病める人たちと喜びや悲しみを共有し、彼らを支える強い意志や情熱が求められるのです。これらの資質は、医師として成長するために不可欠なものです。名医たちにはこのような資質が備わっていました。

今、医師を目指そうと思っているあなたには、その道のりはとても 険しいものに思えるかもしれませんが、あなたの決意と努力次第で必 ず道は開けていきます。

高校時代は、自己成長や人間的な魅力を培うためにとても重要な時期です。自身の興味や関心を追求し、多様な分野に触れて、広い視野と豊かな人間性を育ててください。そこで得た知識や経験は、将来の医師としてのスキルや人間性を形成する重要な基盤となります。

常に自信を持って、進むべき道を信じ、大いに学んで、地道に前進してください。そして将来多くの人々を癒やす存在となるように輝かしい医師の道をめざしてください。あなたも歴史に名を刻む可能性を大いに秘めているのです。あなたの健闘を心から応援しています。



病院長 林 泰広



YouTube の日本語対応開始が2007年6月、Facebookの日本語サービスは2008年5月に始まり、iPhoneの日本での発売開始が2008年7月ですので、これは現在高校生の皆さんが生まれたころの出来事になります。その後2011年6月にLINEが日本でのサービスを開始し、2014年2月にはinstagramが日本語アカウントを開設しているので、現在の高校生は小学生の頃にはこれらが身近にあった世代です。

"脱ゆとり世代"と呼ばれていますが、欧米では"Z世代"と名付けられています。物心がつく頃からモバイル端末に触れ、SNSを通じて交流することが当たり前な世代であり、品物を購入する際には事前にしっかり情報収集して選択的な消費をしますが、一方で自分の好きなこと、もの、ひとにはお金をつぎ込むといった「推し」をもつことが多いようです。

最近医療の現場で利用することが多くなったインターネットを用いた情報通信技術 ICT(Information and Communication Technology)は Z 世代のみなさんはおそらくお手のものでしょう。現在導入が求められている医療 DX(デジタルトランスフォーメーション)では卓越したアイデアを出してくれるのではないかと期待しています。医師になってその才能を存分に発揮してください。



病院長 山崎 薫



医師を目指す皆さんへ

医者を目指す動機はなんでも良いのだと考えています。私自身小学生のころから漠然と将来は人のためになりたいと思っていました。高校時代に手塚治虫のブラックジャックを読んで、医者になりたい!と思ったのがそもそもの私の動機です。

現在医者になって約40年経ちましたが、いまではこの職業を選んで本当に良かったと思っています。私は循環器内科医です。急性心筋梗塞など重篤な疾患で死にそうになって病院に搬送された患者さんが治療後退院するときに本人および家族から非常に感謝されます。それはいつも本当に大変嬉しいことでした。それがあるから深夜に緊急の心臓カテーテル治療で呼ばれて大変だったとしてもその苦労は吹っ飛んでいきました。また40年間医学の進歩を肌で実感し、さらにその進歩を自分で実践する楽しみもありました。

ただ医師を目指す若い方々にはいつも「覚悟は必要です」と言っています。 野球やサッカーのファンは、選手たちに「プロなのだからしっかりやれよ」と 叱咤激励し結果が悪いと卵を投げつけたりマスコミもコテンパンに打ちのめし ます。ある意味医師も同じです。そもそもプロフェショナリズムとは専門家とし ての精神を指す言葉で、しばしば医学者や医学教育で用いられ、人間の命 を預かる専門的能力とモラルが求められることを意味しています。高度で専 門的能力が要請される仕事を遂行し、能力のみならず誠実に倫理を守って社 会や人に貢献していくことが求められるのです。そして能力の研鑽つまり進歩 する医学に対しての勉強は一生続きます。甘えに陥ることなく、自らのミッショ ンに基づいてプロフェッショナリズムの発揮が要請されているということです。

本当に医師になりたい方は覚悟を決めて医師になることを目指してください。 私の座右の銘です。Where there's a will, there's a way.



皆さんが医師になり活躍されることを願っています。

院長 俵原 敬



独立行政法人 労働者健康安全機構 浜松ろうさい病院 院長 江川 裕人 先生 からのメッセージ

医師を目指す高校生の皆さんへ

若者が憧れる仕事はたくさんあります。ファッション、音楽、美術、 先端技術開発、報道など、その目的は人々を幸せにすることです。華 やかではないけれども、医師という職業も同じです。ただ、医師にな るためには、受験最難関の医学部に入学し、6年間の座学と実習を経て、 国家試験に合格し、生涯にわたって研鑽を積んでいくことができる持 続する集中力が求められます。

もう一つ大切なことがあります。病気は教科書通りには現れません。 目の前の出来事を深く掘り下げて考える訓練と多種多様なパーソナリティに寄り添える人間力を養っていただきたい。高校生の君達で言えば、掘り下げる思考力は数学と物理が最適です。ただし、公式を当てはめる考え方では役に立ちません。人間力は普段の友人との付き合いと読書により心を耕すことが大切です。

今後、日本では高齢化が進み、医師に必要とされるタスクも変化していきます。平成までは臓器・疾患専門医がもてはやされましたが、高齢化が進む社会では単臓器専門医は役に立ちません。結局、病気や臓器を診るのではなく、人を観ることが名医になります。

浜松ろうさい病院の理念である「ヒューマニズムとアカデミズム」こそ医療者に求められる根本原理です。実はこれは仏教が大切にしている言葉である「慈悲と智慧」です。つまり医師として生涯を研鑽することは人として最高の高みに上がることです。皆さん、お待ちしています。



院長 江川 裕人



社会福祉法人 聖隷福祉事業団 **総合病院 聖隷浜松病院** 院長 岡 俊明 先生 からのメッセージ

医師の仕事の魅力は何か?と尋ねられたら、"生涯やりがいを感じて続けられる仕事だから"と答えるでしょう。やりがいを感じるのは人の役に立っている、常に新しい発見がある、責任と充実感がある、地域に貢献できる、などと思わせてくれるからです。

しかし、このようなやりがいを感じるためには多くの努力が必要であり、辛いこともたくさんあります。それでも充実感をもって自分が医師の仕事を続けられてきたのは、具合の悪い患者さんを目の前にすると自然と何かに突き動かされ、診療に没頭できたからだと思います。これは特別な感情でも高い志でもなく、人として普通の行動ですから、皆さんも医師になれば同じ想いで仕事ができるでしょう。

もうひとつ医師という仕事は人を助けているようで、実は多くの人 に助けられて仕事をしています。看護師、薬剤師、検査技師などの専 門性の高いプロフェッショナルな人たちに囲まれ、患者さんのために なることを一緒に考え、お互い助け合いながら同じ方向を目指して仕 事ができるのも魅力のひとつです。

これ以外にも医師としてやりがいを感じることは多々あります。それについては皆さんが医師になって自ら感じてもらうのが良いでしょう。将来皆さんと医師の仕事の魅力について語り合う機会が巡ってくることを心待ちにしています。

頑張ってください。



院長 岡 俊明



浜松医療センター 院長 海野 直樹 先生 からのメッセージ

医師を志すあなたに贈る言葉

医師になることを志す際に、皆さんはきっと自分は医師に向いているだろうかと自問自答したことがあると思います。では医師に向いている性格あるいは資質とはなんでしょうか?正解は一つ。あなたが病に悩んでいる人を救いたい、その人に寄り添って力を貸してあげたい、その心さえあればあなたは医師になる資格があります。もちろん世の中にはその想いのある方はたくさんいらっしゃるので、医学部という限られた定員枠に入るための受験勉強を頑張り、競争に打ち勝つ必要があります。それでも自分は向いているだろうかと自問自答されることは多々あると思います。でも大丈夫です。

医師には内科、外科、小児科、産婦人科、放射線科、救急科、病理医その他30以上の専門科があり、それぞれの専門科によって仕事内容は大きく変わりますし、向き、不向きの性格も診療科ごとに異なります。あなたがマッチする専門科はきっとあります。ですから自分は医師に向いているだろうかという問いかけよりも、医師になった後にどの専門科が自分に合っているだろうか?という問いの方がより大きな意味をもっていると思います。

どの専門医になるべきかという答えは医学部6年間の後、もっと詳しく言えばその後の臨床研修医時代に決定すれば良いのです。ただし、何科の医師になろうと共通していることは、医師は人の命と密接な関わり合いを持つ責任ある仕事ですから、その責任と使命を担う覚悟を持たなければなりません。また医療は医師だけで行うものではなく、看護師、薬剤師、検査技師、理学療法士、救命士、医療事務など数多くの職種の方々とのチームワークにより成り立っています。したがって医師はコミュニケーションを大切にし、自分の思いを他の人に伝え共感してもらう力を養うこと、他の人の意見に耳を傾ける努力を今から始めてください。

医師になる道は決してたやすいものではありません。しかし人生を賭ける に足る職業であることは間違いありません。未来を切り拓いていくのはあな たがた自身です。



院長 海野 直樹



社会福祉法人 聖隷福祉事業団 医療保護施設・地域医療支援病院 総合病院 聖隷三方原病院 病院長 山本 貴道 先生 からのメッセージ

医学部進学を目指している皆さんは未だ想像がつかないと思いますが、医師の仕事内容は多種多様です。性格によって向き不向きがあるのは当然ですが、医師という職業は自分に合った分野が見つかる可能性が高いと思います。内服治療によって病気を治したい。手術によって病巣を摘出するなど外科治療によって病気を治したい。治療というより、診断の方に重きを置いて診療を行いたい。などなど医学部に行くと多くのことがわかってくるでしょう。

私が学生の頃は、卒業の段階で入局する医局を決めるのが普通だったので、学生実習の間に科の特性をよく観察するようにしていました。今では初期研修の2年間があるので、焦って決める必要は全く無くなりました。しかし初期研修では学生実習のように全ての診療科を回る訳ではないので、やはり学生の内に自分の将来を何にかけるのか、十分に研究しておくことをお勧めします。

私の場合、家系に医師はおらず、家族が大病で入院しどこかの病院にお世話になったこともありませんでした。よって自分が医師になろうという夢を持つことになったモデルがいた訳ではありません。

高校は静岡県立清水東高校でしたが、クラスに医学部志望が多かったためか、当時の担任がある病院に希望者を連れて行ってくれました。その時にそこに勤めておられた先生に色々質問したのを覚えています。高校3年生の時には「外科医」になろうと決めていました。浜松医大に進学し、学生時代は心臓血管外科医か脳神経外科医になろうと思っていましたが、学生実習で見た脳神経外科の顕微鏡手術で映された脳の映像がとても美しく、これを一生の仕事にしようと決めました。医学部に入った後は何科の医師になるのかという大きな選択が待っています。皆さんが努力を重ねて、この素晴らしい世界に入られるよう期待しています。



病院長 山本 貴道



私の勤務する佐久間病院はいわゆるへき地病院です。この冊子への 執筆にあたり良い機会だと思って考えてみました。へき地医療のどこ が楽しいのでしょうか。

私が佐久間で医療をやっていて楽しいのは、病院の中に留まらず外に出ていけること。病院なので入院・外来患者を診るのですが、医療資源の少ないへき地ではそれに留まらず、附属診療所や無医地区の巡回診療、在宅訪問診療、介護施設での診療、学校医や企業の産業医としての活動、保健師との健康づくり事業など、いろいろな役割で外に出て、豊かな自然の中で季節を感じることができるのです。そしてそこではいろいろな出会いがあります。お家で療養する人や介護・福祉の従事者ばかりでなく、元気なお年寄り、元気な若者とも関わることができます。1日として同じ日はなく多様な日々を過ごしています。

なので、専門を突き詰めて行こうという医師にとっては、専門外の 診療を行うことは不安でしょうし、へき地医療はつまらないかもしれ ません。決して誰もが楽しく感じるものではないでしょう。でも、自 然を感じ、地域の人と関わる体験は心のリフレッシュにもつながります。

皆さんも医師になって医療を続ける中で少しでもそんな体験がした くなったら、短期間でもよいのでへき地医療を経験してみませんか。



病院長 三枝 智宏



医師になるための道・医師としての道

医師になるには、まず大学の医学科へ入学し、6年間にわたって専門 的な知識や技能を修めます。そして、毎年春に行われる医師国家試験 に合格し、医師免許を取得することが必要です。

医師免許を取得したら、病院に勤務しながら2年間にわたって初期 研修を受けます。この研修では、先輩医師の指導の下で、内科・救急・ 外科・小児科といった様々な診療科の経験を積みます。医師としての 基本的な診療能力を身に付けるとともに、自分の適性に合った将来の 進路を決める2年間です。

では「適性に合った進路」とは、どういうことでしょうか。実は医師の活躍の場は、とても広いのです。初期研修を終えると、多くの医師は病院において専門性をさらに高めるための研修を受けます。一方で、患者さんを直接診療しない職場を選択する医師もいます。例えば、大学や研究機関において研究に取り組む医師、保健所などで医療行政を担う医師など様々です。

医師は、自分の適性に合った生き方を選択できます。ただし、その前提として、単に医学の知識や技能だけでなく、高い倫理性と豊かな 人間性も身に付けることが求められます。志を定めるにあたって、そ のことを是非理解してください。







我が国と静岡県の医療の現状



我が国の平均寿命は、先進国の集まりである OECD (経済協力開発機構)加盟国と比べ長く、このことから日本の医療は世界から高い評価を受けています。その一方で医師の数は OECD の平均の約3分の2で、少ないことが分かります。今後、高齢者の人口が増え、それに伴って医療需要は続伸すると予想されています。これに対し、医師数を急激に増やすことは現実的に難しいことです(OECD 平均まで増やすには、新たに10万人以上の医師が必要です)。

	日 本	OECD 平均
平均寿命	84.5 歳	80.6 歳
医 師 数	人口 1,000人あたり2.6 人	人口 1,000人あたり3.7 人

(出典: Health at a Glance 2023:OECD INDICATORS)

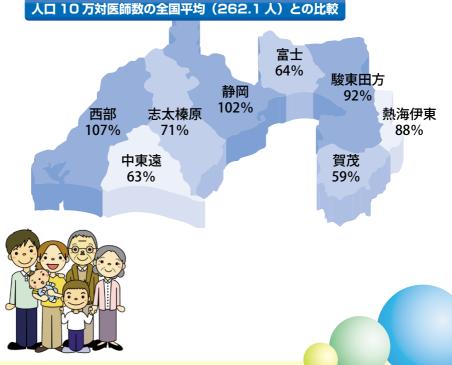
健康上の問題で日常生活が制限されることなく生活できる期間のことを「健康寿命」と言います。静岡県は、我が国の中でも健康寿命が男女とも上位に位置しています。その一方で、医師数は2022年の調査結果によると全国平均の88%にとどまっています(全国順位40位)。

	データ年	静岡県	全国順位(降順)
人口(国勢調査)	2020年	363 万人	10 位
一人当たりの 県民所得	2020年	311 万円	6 位
健康寿命	2019年	男 73.45 歳 女 76.58 歳	男 5 位 女 5 位
人口 10 万人当たりの 医 師 数	2022年	230.1 人	40 位

ここで県内を地域別の医師数で比較してみましょう。駿東田方、静岡、西部では全国平均に近い数の医師が従事していますが、賀茂、富士、中東遠においては、全国平均に対し70%未満にとどまっています。このように全体的に医師が不足するとともに、地域偏在も見られるのが静岡県の特徴です。

安心して暮らせる地域として発展し続けるために、医療は欠かせま せん。

この冊子を手に取ってくださった皆さんが、将来静岡県で医師として活躍することを待ち望んでいます。





静岡県で活躍したいみなさんへの支援

将来、医師として静岡県の地域医療に貢献するこころざしを持つ皆 さんの大学での修学を支援するため、静岡県では奨学金制度を整えて います。

静岡県医学修学研修資金制度は、月額20万円の資金を修学中の6年間受けることができるものです。貸与された資金は、大学卒業後静岡県内の指定された公的病院等で一定期間勤務することで返済が免除されます。

医学部の修学期間は長く、私立大学では学費も高額になりますが、 奨学金制度を上手に利用することで、家計の負担を減らしつつ、医師 への道を歩むことができます。

制度の概要 (医学科大学生の場合)

貸与期間	6年間 (医学科の修学年限)	
貸 与 額	月額 20 万円(6 年間)⇒ 1,440 万円	
返済免除勤務期間	貸与期間の 1.5 倍の期限 ⇒ 9 年間勤務 ※履行期間 貸与期間の 2 倍に 4 年を加えた期間 ⇒ 16 年間	
勤務医療機関 静岡県内の公的医療機関等のうち、 県が指定する医療機関		
診療科の指定なし		

本小冊子を読んで こころざしの原点を記録しよう

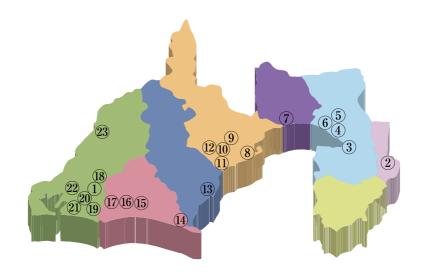
病院長のメッセージや県内の医療の現状を読んでどう感じましたか?皆さんが将来を 担う医師として学び、活躍していただけたら幸いです。

ここに皆さんのこころざしの原点を記録してください。そして、受験勉強に追われて 意志が揺らぎそうになった時には、この小冊子を取り出してください。きっと、自分が 目指す人生を歩む勇気を与えてくれると思います。









メッセージ掲載病院一覧

- ① 浜松医科大学医学部付属病院
- ② 伊東市民病院
- ③ 順天堂大学医学部附属静岡病院
- ④ 静岡医療センター
- ⑤ 静岡県立静岡がんセンター
- ⑥ 沼津市立病院
- ⑦ 富士市立中央病院
- ⑧ 静岡市立清水病院
- ⑨ 静岡県立こども病院
- ⑩ 静岡県立総合病院
- ① 静岡市立静岡病院
- (12) 静岡県立こころの医療センター

- ③ 焼津市立総合病院
- (4) 市立御前崎総合病院
- ⑤ 中東遠総合医療センター
- (6) 袋井市立聖隷袋井市民病院
- ① 磐田市立総合病院
- 18 浜松赤十字病院
- ⑩ 浜松ろうさい病院
- 20 聖隷浜松病院
- ② 浜松医療センター
- 22 聖隷三方原病院
- 23 佐久間病院

令和6年7月発行

国立大学法人 浜松医科大学医学部 地域医療学講座 〒431-3192 浜松市中央区半田山 -丁目20番1号 電話 053 - 435 - 2060